

地域活動協議会への支援状況(運営)

【旭区】(受託者:大阪市コミュニティ協会・(株)関西総合研究所)

めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
<b>地域課題への取組</b>					
地域課題やニーズを把握し、これに対応するために安定継続的に活動が行われている	地域課題やニーズに対応した活動の実施	平成26年6月～10月	●防災まち歩きの実施	●防災点検まち歩きについて、事前にマップ、チラシ案、次第などの作成を支援し、当日は班別などに分かれてまちを歩き、まとめの支援をした。その後ワードでデータ作成を実施し、かわら版に反映させるように支援した。 ●今後残りの地域についても順次支援の予定である。	●生江地域防災まちあるき06月02日30名参加 ●大宮地域防災まち歩き(南部地域)06月28日30名参加 ●高殿南地域防災まち歩き06月29日30名参加 ●中宮地域防災まち歩き09月06日30名参加 ●高殿地域防災点検まち歩き8月24日50名参加
	法人格の取得	なし			
<b>つながりの拡充</b>					
イベント等の取組に、これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加が促進され、地域住民同士のつながりが拡大している	これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加の促進	平成26年6月 平成26年8月	●防災まち歩きの実施(再掲) ●旭区民まつり(8月30日)	●昨平成25年来、防災の分かれ道(クロスロード)を実施したことなどにより、地域における災害への備えについて、関心が高まっている。平成26年度は子どもたちへの支援の観点から、区役所と協力して、防災スリッパづくりの支援を実施した。(生江、大宮、古市) ●旭区民まつりにて地活協のアピール。また各地域も、地活協としてイベントに参加。	●防災訓練において、新聞紙によるスリッパづくりなど実施(生江小学校児童120名・地域200名、大宮小学校児童120名・地域200名、古市小学校児童30名・地域100名) ●旭区民まつり地活協ブース約500名来訪。
地活協を構成する活動主体同士や、地活協と他の活動主体との連携・協働が促進されている	地域活動協議会を構成する活動主体同士の連携・協働(担い手の拡大含む)【地域活動協議会内部】	平成26年6月、10月  通年	●地域活動協議会構成団体長会議の開催、記録作成 ●役員レベルの組織の在り方について支援 ●ホームページ更新の支援 ●かわら版の作成支援	●区役所が実施する「地域活動協議会構成団体長会議」出席し、記録作成を実施した。 ●組織作りについての支援を実施した(高殿地域) ●平成24年度末に開設した各地域のホームページについて、順次内容充実のための支援を実施した。 ●かわら版については、自主的な作成支援を目指していたが、まずまちづくりセンターで作成して、内容を確認していただき、順次発行していただいた。	●構成団体長会議各回20名～40名参加。 ●ホームページ適宜支援 ●かわら版6月から8地域で発行(清水、古市、大宮、中宮、生江、城北、高殿、高殿南)
	地域活動協議会と他の活動主体との連携・協働【外部との連携・協働】	平成26年6月 平成26年4月～毎月1回 4月1日～	●防災まち歩きの実施(再掲) ●井戸端会議に参加 ●学校の土曜事業に参画 ●旭まちづくりサロン	●古市井戸端会議に出席し、地活協についての説明、地域の中心的課題について、情報交換を実施した。 ●学校の土曜事業に地域活動協議会が参画し、地域住民と学校が同じ場で防災を学ぶ機会をつくり、異世代での防災訓練を実施した。(生江、大宮) ●4月1日から開設。8月11日美装化終了、9月1日から祭日オープン(区役所と協力) 10月1日現在9団体が登録、受付事務を実施。	●古市井戸端会議毎月実施に参加・情報提供(5名～10名参加)。 ●日常的な会議に活用されている。
	地域公共人材の活用				
<b>組織運営</b>					
民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されている	議決機関(総会・運営委員会等)の適正な運営	適宜	●運営委員会・総会の開催支援	●10月1日現在、6地域で運営委員会開催(新森:2か月に1回、大宮:奇数月 第3土曜日、中宮:不定期、生江:不定期、高殿:偶数月 第3月曜日、高殿南:不定期) ●平成26年総会を開催にあたり、資料作成を大宮を除く9地域にて実施(大宮は自主作成が可能)。	●平成25年度総会資料作成支援(各地域20名～50名程度の出席)
	会計事務の適正な執行	通年	●会計担当者への支援	●平成25年度会計報告の資料作成について、10地域を支援した。 ●平成26年度は委託事業が開始され、地域に負担をかけないソフトを提供した。	●平成26年度会計ソフト全10地域の支援完了(個別に訪問して支援)。
	多様な媒体による広報活動	通年(再掲)	●ホームページ更新の支援(再掲) ●かわら版の作成支援(再掲)	●平成24年度末に開設した各地域のホームページについて、順次内容充実のための支援を実施した(再掲)。 ●かわら版については、自主的な作成支援を目指していたが、まずまちづくりセンターで作成して、内容を確認していただき、順次発行していただいた(再掲)。	●ホームページ適宜支援(再掲)。 ●かわら版6月から8地域で発行(清水、古市、大宮、中宮、生江、城北、高殿、高殿南)(再掲)
区独自の取組み		—	—	—	—

※具体的な取組については「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」を参照